

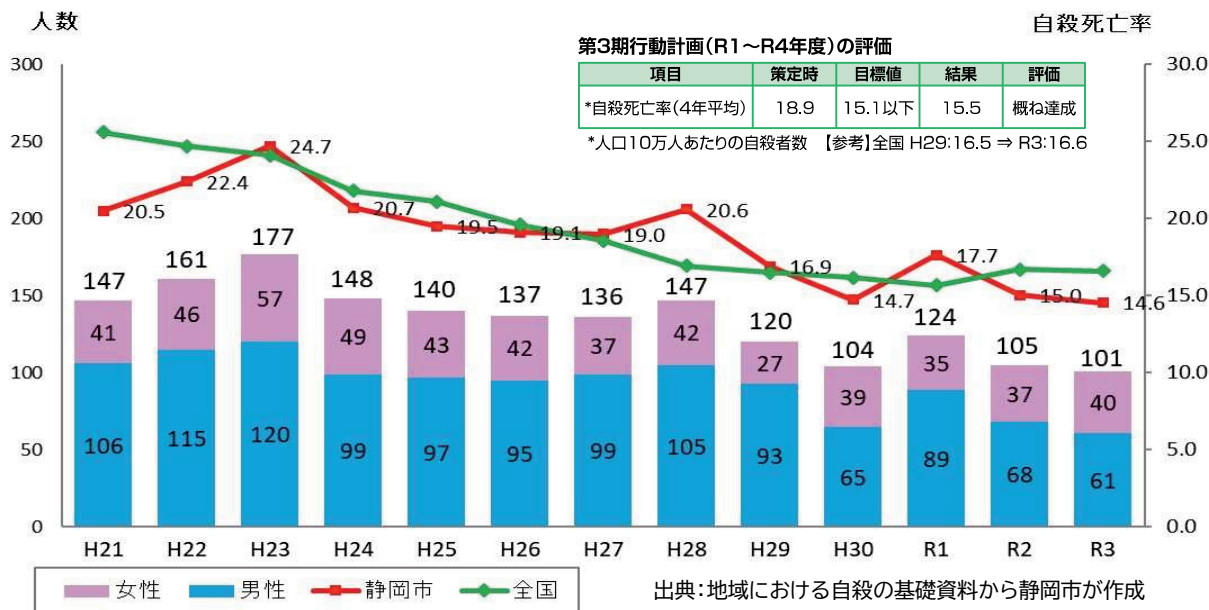
第4期静岡市自殺対策行動計画(案)《パブリックコメント用 概要版》

計画の趣旨・理念

静岡市における自殺対策を「生きることの包括的支援」として総合的に推進することで、
誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指す。

静岡市の自殺の現状と課題

静岡市の自殺者数・自殺死亡率の推移



静岡市の自殺者数は、増減を繰り返しながらも概ね減少傾向にあり、全国で見られた令和2年の増加は確認されていません。しかし、今なお毎年100人以上の方が自殺でその尊い命を落としており、これは交通事故による死者数の5倍以上です。(交通事故死者数17.4人(5年平均))

また、国の指定調査研究等法人が作成する「地域自殺実態プロファイル」(静岡市2022年版)では、20歳未満と20歳代の自殺死亡率が全国の中央値よりも高く、また、自殺で亡くなられた方のうち、「高齢者」「生活困窮者」「勤労者・経営者」の占める割合が大きいことが指摘されています。

地域自殺実態プロファイルより

静岡市の自殺の特性(年齢別)

年齢別	自殺死亡率		全国の市町村ランク
	静岡市	全国中央値	
20歳未満	3.7	0.7	上位20~40%
20歳代	18.6	14.8	上位20~40%
30歳代~80歳以上	いずれも上位に入らない		

静岡市の主な自殺者の特徴

自殺者の特性上位3区分	自殺者数(5年計)	全体に占める割合	自殺死亡率(人口10万人あたり)
1位 男性60歳以上・無職・同居人あり	65	11.7%	26.5
2位 男性40~59歳・有職・同居人あり	64	11.6%	17.2
3位 女性60歳以上・無職・同居人あり	61	11.0%	14.2

重点的に対策を行うべき対象
 高齢者、生活困窮者、勤労者・経営者
 ※一部表現を変更しています。

【自殺の傾向に関する課題】

- 「子ども・若者」の自殺死亡率が全国の中央値よりも高い。
- 自殺で亡くなられた方のうち「高齢者、生活困窮者、勤労者・経営者」の占める割合が大きい。

重点対象として
 対策を推進!

【その他の課題】

- 新型コロナウイルス感染症を踏まえたICTの活用(非接触型支援等)が必要。
- 複合課題に対応できる相談体制の充実が必要。
- より効果的な対策を講じるための調査分析が必要。

静岡市ならではの
 取組を実施!

第4期自殺対策行動計画の基本方針

1 正しい知識の普及啓発により 早期発見・早期支援を促す

自殺や精神疾患等に対する誤解や偏見を解消し、また、ゲートキーパーを普及・養成することで、必要な支援に繋がります。



自ら気付いて相談受診 周りが気付いて傾聴つなぐ

→ 全市民

2 悩みやストレスの 原因解決・解消に向け支援する

悩みの相談に応じるとともに、制度利用や福祉サービスの活用等により、相談者の負担軽減や問題解決に向け支援します。

ライフステージに応じた支援
子ども・若者、妊産婦・子育て世代、
勤労者・経営者、高齢者・介護者

さまざまな事情に応じた支援

障がいのある方、ひきこもりの方、
自死遺族・遺児、性的少数者(LGBTQ)、
がん・慢性疾患等患者、生活困窮者、
こころの悩みを抱えている方

→ 悩みを抱える方

3 自殺未遂者等の いのちを守り、再度の自殺を防ぐ

自殺のリスクがひっ迫している方について、必要に応じて、法に基づく受診援助や入院決定等を行います。



→ 自殺未遂者等

4 複合課題に対応できる 連携体制・支援体制を構築する

自殺は複数の危機要因が複雑に絡み合って起こることを踏まえ、相談者をトータルで支える体制構築を行います。



→ 関係機関・支援者

ゲートキーパー:身近な人の異変に気づき、声をかけ、話を聴いて、必要な支援につなげ、見守る人

重点対象と主な事業・取組

NEW! 子ども・若者

- 主な事業・取組
- SOSの出し方に関する教育の更なる推進
 - NEW! 「静岡型」ヤングケアラー支援
 - NEW! 若者の自殺危機対応チーム

勤労者・経営者

- 主な事業・取組
- 職場における総合的なハラスメント防止対策の推進
 - 多様な人材の活躍応援事業所表彰
 - NEW! IT活用による生産性向上支援事業

高齢者・介護者

- 主な事業・取組
- 地域包括支援センターの運営
 - NEW! かかりつけ医の総合的評価による介護予防事業
 - NEW! 精神科医療へのつなぎ促進等事業

生活困窮者等

- 主な事業・取組
- 生活困窮者自立相談支援事業
 - NEW! 就職氷河期世代再チャレンジ支援事業
 - NEW! 居住不安定者居住生活移行支援事業

静岡市ならではの取組

コロナ禍における ICTの活用

NEW! 自殺対策ホームページのリニューアル

市政出前講座や一般市民向けゲートキーパー養成研修のオンライン配信、チャットボットによる相談窓口の検索等、利便性の向上を図ります。

複合課題の相談体制

Life(いのち)を守る総合相談会 / NEW! ゲートキーパー講師養成研修

医師、弁護士、社労士、心理師等の多職種による総合相談会を開催するとともに、相談窓口の職員等に対するゲートキーパーの更なる養成を行います。

市独自の調査分析

NEW! 自殺対策調査分析業務 / NEW! 自殺対策アドバイザリーボードの設置

大学と連携した自殺の現状分析と、有識者で構成するアドバイザリーボードの設置により、静岡市の課題究明と効果的な自殺対策の立案を推進します。

事業・取組は、令和5年度予算調製中のものを含むため変更になる場合があります。

計画の目標

自殺死亡率(人口10万人あたりの自殺者数):13.0以下(令和8年)

国の目標値(R8年に13.0以下)に合わせて設定。静岡市の人口(約69万人)で換算すると年89人以下。